



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年2月12日

上場会社名 クリングルファーマ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4884 URL https://www.kringle-pharma.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)安達 喜一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理部長 (氏名)松浦 裕 (TEL)072 (641) 8739
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の業績(2020年10月1日~2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	94	—	△45	—	△61	—	△62	—
2020年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	△16.94	—
2020年9月期第1四半期	—	—

- (注) 1. 2020年9月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年9月期第1四半期の数値及び2021年9月期第1四半期の前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	2,986	2,659	89.1
2020年9月期	2,350	2,188	93.1

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 2,659百万円 2020年9月期 2,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	—	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	206	△55.9	△1,037	—	△1,015	—	△1,017	—	△245.19

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2. 2021年9月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募株式数(580,000株)及びオーバーアロットメントによる第三者割当増資分(87,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年9月期1Q	4,227,700株	2020年9月期	3,647,700株
2021年9月期1Q	一株	2020年9月期	一株
2021年9月期1Q	3,679,222株	2020年9月期1Q	一株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 1. 2021年9月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2021年9月期第1四半期における期中平均株式数を記載しておりません。

2. 2020年11月12日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割については、2020年9月期の期首に株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第1四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。なお、当社は、前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

1. 医薬開発活動について

(ア) 脊髄損傷(SCI)急性期

慶應義塾大学整形外科中村雅也教授を治験調整医師とする治験実施体制のもとで、第I/II相試験を実施し、当該治験により安全性を確認するとともに有効性を示唆する結果を得ました。第I/II相試験で得られたPOC（プルーフ・オブ・コンセプト：研究開発中である新薬候補物質の有用性・効果が、ヒトに投与することによって認められること）を検証する目的で次の第III相試験の計画を策定し、2020年6月9日付で医薬品医療機器総合機構（以下「PMDA」という。）に治験計画届書を提出しました。

同年7月より第III相試験を開始し、当第1四半期累計期間においては、当該第III相試験を継続中であります。

(イ) 筋萎縮性側索硬化症(ALS)

2016年5月より東北大学神経内科青木正志教授による医師主導治験として開始された第II相試験について、東北大学病院及び大阪大学医学部附属病院において患者組入れを継続してきました。当社は、治験薬の提供ならびに当該治験の運営・推進支援、治験薬の安定性試験等を継続して実施しました。

当第1四半期累計期間においても、日本医療研究開発機構(AMED)からの補助金が削減されたことに伴う当該治験の停滞を回避するため、当社より、医薬品開発業務受託機関(CRO)等に係る治験費用の填補を継続しました。また、2020年11月には患者組入れを終了し、組入れた患者への治験薬投与を継続中であります。

(ウ) 声帯癬痕(VFS)

声帯粘膜が硬く変性(線維化)する疾患であるVFSを対象とした医師主導による第I/II相臨床試験によって、KP-100製剤(KP-100LI)の声帯内投与の安全性が確認され、声帯の機能回復を示す症例も確認されました(J Tissue Eng Regen Med. 2017; 1-8.)。当第1四半期累計期間においては、2019年7月に実施したPMDAとの事前面談を踏まえ、POCの取得を目的とする次相試験(プラセボ対照二重盲検比較試験)計画の細部について、京都府立医科大学と協議を重ねております。

(エ) クラリス・バイオセラピューティクス社への原薬供給

当社は、2020年4月に米国のクラリス・バイオセラピューティクス社とLicense and Supply Agreementを締結し、同社が米国において眼科疾患を対象に臨床開発を進めるためのHGF原薬の供給を行っております。当第1四半期累計期間においては、同社に対し治験薬製造等に必要となるGMP準拠によるHGF原薬を供給しました。

2. 事業開発活動について

当第1四半期累計期間において、脊髄損傷(SCI)急性期での海外展開を見据えて、海外製薬企業等との事業提携協議を中心に、事業開発活動を行いました。また、VFSの開発を促進するため、製薬企業との提携及び補助金等の資金確保のための活動を行いました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は94,230千円、営業損失は45,602千円、当第1四半期累計期間の経常損失は61,945千円、四半期純損失は62,317千円となりました。

なお、当社は医薬品開発事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ636,027千円増加し、2,986,270千円となりました。

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて636,027千円増加(前事業年度末比27.1%増)し、2,985,239千円となりました。これは主として、当社株式の東京証券取引所マザーズ上場に伴う増資等により現金及び預金が555,194千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末と同額の1,031千円となりました。

この結果、資産合計は、前事業年度末に比べて636,027千円増加（前事業年度末比27.1%増）し、2,986,270千円となりました。

（負債）

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ164,734千円増加（前事業年度末比103.3%増）し、324,220千円となりました。これは主として、製造委託に係る費用の増加等により未払金が214,267千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末より大きな変動はなく、前事業年度末より11千円増加し、2,245千円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて164,745千円増加（前事業年度末比101.9%増）し、326,466千円となりました。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少62,317千円はあるものの、当社株式の東京証券取引所マザーズ上場に伴う増資による資本金及び資本準備金がそれぞれ266,800千円増加したことにより、前事業年度末に比べ471,282千円増加（前事業年度末比21.5%増）し、2,659,803千円となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の業績予想につきましては、2020年12月28日に「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、2021年1月8日及び1月14日からの緊急事態措置等（新型コロナウイルスの感染拡大防止及び予防のための政府及び自治体等の対策）に対して、当社もテレワークや時差出勤の実施等により、取り組んでおりますが、当社の通期業績予想への影響は軽微であると考えております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,102,538	2,657,733
売掛金	105,810	—
原材料及び貯蔵品	46,367	220,596
前渡金	59,195	45,763
未収消費税等	23,914	53,343
その他	11,385	7,802
流動資産合計	2,349,211	2,985,239
固定資産		
有形固定資産	—	—
投資その他の資産	1,031	1,031
固定資産合計	1,031	1,031
資産合計	2,350,242	2,986,270
負債の部		
流動負債		
未払金	57,053	271,320
未払法人税等	16,998	4,949
前受金	81,088	35,520
その他	4,346	12,429
流動負債合計	159,486	324,220
固定負債		
資産除去債務	2,234	2,245
固定負債合計	2,234	2,245
負債合計	161,721	326,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	566,800
資本剰余金	2,654,002	2,920,802
利益剰余金	△765,481	△827,798
株主資本合計	2,188,521	2,659,803
純資産合計	2,188,521	2,659,803
負債純資産合計	2,350,242	2,986,270

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	94,230
売上原価	—
売上総利益	94,230
販売費及び一般管理費	139,832
営業損失(△)	△45,602
営業外費用	
上場関連費用	11,887
株式交付費	4,330
為替差損	124
営業外費用合計	16,342
経常損失(△)	△61,945
税引前四半期純損失(△)	△61,945
法人税、住民税及び事業税	372
法人税等合計	372
四半期純損失(△)	△62,317

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年12月28日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。上場にあたり、2020年12月27日を払込期日とする公募増資による新株式580,000株の発行により、第1四半期累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ266,800千円増加しております。

この結果、当第1四半期会計期間末における資本金は566,800千円、資本剰余金は2,920,802千円となっております。

(重要な後発事象)

(第三者割当による新株式の発行)

当社は、2020年11月24日及び2020年12月8日開催の取締役会において、野村證券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議し、2021年1月26日に払込が完了いたしました。新株式の発行の概要は以下のとおりであります。

(1) 発行する株式の種類及び数	普通株式 87,000株
(2) 割当価格	1株につき 920円
(3) 資本組入額	1株につき 460円
(4) 割当価格の総額	80,040千円
(5) 増加した資本金及び資本準備金の額	増加した資本金の額 40,020千円 増加した資本準備金の額 40,020千円
(6) 払込期日	2021年1月26日
(7) 募集方法	第三者割当 (オーバーアロットメントによる売出し)
(8) 資金の用途	継続して研究開発を行うための運転資金として、脊髄損傷 (SCI) 急性期パイプラインの研究開発費用 (第Ⅲ相試験) に充当する予定であります。